

定例教育委員会会議次第

日 時 平成 28 年 1 月 21 日(木)午後 3 時～

場 所 三国図書館 2階 会議室

1 委員長あいさつ

2 教育委員会会議録の承認について

3 教育長報告

4 議 案

議案第 26 号 受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について

議案第 28 号 坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について

議案第 29 号 坂井市教育振興基本計画の改訂について

5 協議事項

(1) 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について

(2) 坂井研修センター設置条例の廃止について

(3) 坂井市教育支援センター設置条例の制定について

6 その他

(1) 行事予定(2月分)について

(2) その他

定例教育委員会

会 議 録

定例教育委員会会議録

平成28年1月21日

平成27年度坂井市教育委員会会議録（概要）

日 時：平成28年1月21日(木) 午後3時00分より4時55分まで
場 所：三国図書館 2階 会議室

【会議日程】

- 1 委員長あいさつ
- 2 教育委員会会議録(概要)の承認について
- 3 教育長報告
- 4 議 案
 - 議案第26号 受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について
 - 議案第28号 坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について
 - 議案第29号 坂井市教育振興基本計画の改訂について
- 5 協議事項
 - (1) 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
 - (2) 坂井研修センター設置条例の廃止について
 - (3) 坂井市教育支援センター設置条例の制定について
- 6 その他
 - (1) 行事予定(2月分)について
 - (2) その他

【出席者】

教育委員	三宅小百合委員長、若松静榮職務代理者、喜寿正之委員 牧田靖夫委員、川元利夫教育長
教育部	岡部教育部長、滝呑次長(教育総務課長)、武曾次長(生涯学習 スポーツ課長)、前川次長(図書館長)、林教育審議監
学校教育課	白崎課長
国体推進課	長谷川課長
文化課	五十嵐課長
事務局書記	島田課長補佐、井尻課長補佐

【会議の成立】

教育部長 ただいま、委員数5名、出席委員数5名であるので、地方教育行政委員会
の組織運営に関する法律第14条第3項の規定により定足数に達する
ので、会議の成立を宣言する。

委員長 (あいさつ)

【会議録の承認】

委員長 12月定例教育委員会について、事務局の説明を求める。

事務局次長 (会議録概要説明)

委員長 質問等はないか。ないようであれば、会議録について承認する。
各委員は委員会終了後、会議録への署名を願いたい。

【教育長の報告】

教育長 1月も20日が過ぎた。今年もよろしく願います。1月10日には成人式が盛大に開催され無事終了した。10日、11日のテレビを見ると、トラブルがあった所もあり心配したがトラブルなく終了した。成人者にとっていいスタートとなれば良いと思う。14日はみくに龍翔館リニューアル検討委員会を開催した。みくに龍翔館は築35年を経過したが、常設展示が開館時のままであり建物内部が劣化している。坂井市政10周年を迎えるにあたり龍翔館を坂井市の博物館的要素を踏まえたものとしてほしい。また、大規模改修し新たなものを加えて、リニューアルするための検討委員会である。多くの貴重なご意見をいただいたが、合併したので旧4町のものを展示することではなく、やはり三国の特色を生かすということが大事なことであろうという意見があった。来年度末までに、検討を重ねたいと考える。駐車場と正面入口が反対側になっていること、収蔵庫としての価値を高めるにはどうしたらよいか等も大きな課題であり、多方面にわたり検討していきたい。17日は小学生親善かるた大会を開催した。かつては小学校単位での予選を勝ち抜き、旧町単位での大会を勝ち抜いて坂井郡大会に出るという大会で盛況であったが、現在は7校15チームの参加であり下火となっている。先日、福井渚会の川崎八段が競技かるた名人位を取得したことや福井県かるた協会会長が三国出身の山崎みゆき氏でクィーンを取ったこと等があり、第2のブームが起こるとよいと思う。県でも百人一首等の古典に目を向けている。20日、21日は、東京都品川区の教育委員5名と随員2名の方が視察に来ている。丸岡南中学校と春江東小学校において、学力、体力の面について視察を受けた。坂井市と品川区は連携事業に取り組んでおり、今後は文化、教育だけでなく産業、観光等様々な面で連携し交流を深めていきたいと考えている。丸岡城、一筆啓上手紙の館、東尋坊を案内した。来週は市議会議員が訪問する。また今週末は、シティセールス推進室が戸越銀座商店街で坂井市の米を販売するイベントも行う。都市と田舎の違いはあるが、出会い等は同様であり、今後も交流を深めていければよいと思う。

- 委員長 これらについて質問等はあるか。
- 委員長 今年は研修の年であるのか。研修先を品川にすることはできるのか。
- 教育長 品川区へ研修に行くことは可能である。
- 滝呑次長 平成28年度は研修の年であるので予算要求はしている。
- 喜多委員 これからの振興策の中に丸岡に文化施設を設けるという案があったと思うが、手紙の館ができたということもあるのか振興計画から削除された。龍翔館のことに関して、施設の長期的な見通しはいかがか。丸岡の住民からは、丸岡にも文化施設を整備してほしいという声を聞く。豊原遺跡の展示を龍翔館で行っても、遠くてなかなか行けない。財政の問題等あると思うが、20年、30年先を見通しながら、龍翔館のリニューアルの方向性について検討委員会の中で意見は出たのか。
- 教育長 検討委員会の中で意見は出ており、三役、行政の中でも話は出ている。検討委員会の中でも、丸岡城に関係した資料等を龍翔館で展示するのは丸岡の方は納得できないであろう。丸岡城の近くで展示していかなければという意見はある。
- 喜多委員 松江城へ行った際、松江城の近くに展示施設があり松江城と一体的に見学するコースとなっていた。財政面等問題はあると思うが、丸岡城でもそういったコースができるとよいと思う。
- 教育長 以前は丸岡図書館を展示施設とし丸岡図書館は総合支所の中に入れるという話もあったが、反対意見もあり実現できなかった。丸岡図書館を展示施設として、手紙の館、丸岡城と一体化したコースにできると良いという意見はある。
- 喜多委員 今後も検討いただきたい。
- 牧田委員 かるたが下火になっているという話であったが、私は加戸小学校出身で、小学校ではかるたを行っていたので残念に思う。子どもの頃は、かるたを集中してできる。現在、キレる子どもが多いという現状があり、教育委員会でバックアップできないのかと思う。私が小学生の頃は1年中百人一首をしていたが、今は冬だけのようである。指導者のこともあると思うが、三国、坂井、春江地区では実施しているようだが、東十郷小学校、大関小学校では行われなくなってきた。子ども会育成会が中心になると思うが、教育委員会でバックアップし普及を図ることはできないのか。子ども達が百人一首を覚えることは良いことだと思う。

教育長 指導者がいないというのが現状である。教員に依頼するにしても、教員自身がかかるたを行ってきていないという現状もある。保護者の中に経験者がいると、その方を中心として広がっていくことがある。今回は、大石小、三国南小、三国北小、雄島小、加戸小、高椋小、東十郷小、大関小のチームが参加した。

喜多委員 あわら市は「ちはやふる」と観光を結び付けている。学校でかるたを奨励しているということはあるのか。

教育審議監 学校でも広報をしており、私が在籍していた小学校では取り組み応募していた。

若松委員 現在は、子ども達のやる事が増えている。ダンスが教科に入ってきて、ダンスブームである。子ども達の帰宅後の時間は、塾、習い事がたくさんある。かるたを坂井市の強い姿勢として出していかないと、子ども達の時間は取れないと思う。そして、かるたには集中力や粘り強さが必要である。ダンス等の体の動きを魅力的に捉えている子ども達が、かるたに付いていけるのかと思う。かるたをするには根気が必要で、落ち着いて人間性を磨くには素晴らしいと思うが、他に魅力を感じることがありすぎる。多くの選択肢の中から、保護者はその子にあわせて選んでいる。丸岡のサッカーとか、加戸のかるたのように強い姿勢で臨まないといけない環境になってきていると思う。

教育長 かるたの指導者が高齢化になっている。後継者も育っていないのが現状である。かるたの普及に努力したい。

委員長 前回より継続審議となっている「議案第 26 号 受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について」であるが、事務局からの説明をお願いする。

武曾次長 (議案内容の説明)
減免基準を定めているが、丸岡スポーツランドについては、指定管理者が認めた場合と謳っている。丸岡スポーツランド開設当初から当時の丸岡体育協会が指定管理者として運営を行っているため、条例でも指定管理者と謳っているので、規則においても同様となる。

文化課長 (議案内容の説明)
前回は丸岡城の規則改正の資料を参考として提示したが、丸岡城につ

いては市長部局で規則改正を行うので今回の資料からは除外している。文化課は担当課として丸岡城の管理はしているが、条例等は市長部局の管轄となる。

- 委員長 これについて何かご質問等はあるか。
- 喜多委員 三国艇庫条例施行規則の一部改正であるが、小中学生が減免対象となり利用できるものがあるのか。
- 武曾次長 三国艇庫はボート等を保管する倉庫である。
- 喜多委員 小中学生が利用する施設があるのか。
- 国体推進課長 場所は、三国サンセットビーチのヨットバーバーに米ヶ脇の漁協と一緒に整備してある。昭和43年の国体の時に整備し改築して利用している。主にヨット、ボードセーリングを保管する倉庫となっている。現在は、三国高校のヨット部の艇、県ヨット協会の艇、坂井市ヨット協会の艇を保管している。
- 教育長 減免基準の3番目に、市内の幼児、小学生又は中学生で組織された団体が利用する場合は免除とあるが、そういった例はあるのか。
- 武曾次長 幼児、小学生は無理だと思うが、中学生の利用者はあると聞いている。
- 国体推進課長 ヨット協会にお子さんが加入しているが、小学生だけ、中学生だけの団体はない。
- 武曾次長 利用者として、そういった団体が出てくる可能性があるため謳っている。
- 国体推進課長 三国競艇場で少年ヨット教室を開催しているが、そこで使用するヨットも県協会として保管している。
- 教育長 子どもが入っている団体が利用する場合は免除となるのか。
- 武曾次長 基準では免除である。
- 国体推進課長 現在、子どもだけの団体はない。
- 牧田委員 三国高校のヨット部が利用する場合は、利用料が必要となるのか。
- 国体推進課長 1艇1日いくらかという形で利用料が必要となる。1年分を年度末に体

育協会へ支払っている。

教育長 減免基準には当てはまらないのか。

武曾次長 高校生は減免とならない。

国体推進課長 県が実施するヨット教室に使用する艇については、半額免除としている。

牧田委員 三国高校のヨット部の利用料について、減免はできないのか。

国体推進課長 現在は行っていない。艇庫を整備した当時から、建て替え等も考慮して無料というのではない。

教育長 高校生であっても免除はないのか。

武曾次長 規定どおりではなく、いくらか免除した金額で徴収していると思う。

牧田委員 三国高校のヨット部は、お金がかかる。遠征する時もヨットの輸送代で何十万円となる。減額できればと思う。

教育長 艇庫のメンテナンスは、教育委員会で行っているのか。

国体推進課長 体育協会へ委託している。体育協会にはヨットの専門家がないので、旧三国町の時から三国町ヨット協会へ委託している。

委員長 他に、ご意見等がなければ、「議案第 26 号 受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について」は、原案のとおり承認するという事によろしいか。

(異議なし)

委員長 「議案第 26 号 受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について」は、原案のとおり承認する。

委員長 「議案第 28 号 坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について」であるが、事務局からの説明をお願いします。

滝呑次長 (議案内容の説明)
奨学育英資金貸付要綱の一部改正である。平成 28 年度新規貸付者から適用するものとする。

- 委員長 これについて何かご質問等はあるか。
- 教育長 申請者と貸付者は、2倍くらいの学校からの推薦があるのか。
- 滝呑次長 申請者と貸付者は同数である。ここ数年は、2、3人の貸付者となっている。福井県において給付型の奨学制度ができたので、そちらも利用しているようである。
- 喜多委員 制度を知らない人もいるのではないのか。
- 滝呑次長 学校を通して周知を行っている。また、市広報紙にも掲載している。
- 委員長 他に、ご意見等がなければ、「議案第28号 坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について」は、原案のとおり承認するという事によるしいか。

(異議なし)

- 委員長 「議案第28号 坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について」は、原案のとおり承認する。
- 委員長 「議案第29号 坂井市教育振興基本計画の改訂について」であるが、事務局からの説明をお願いします。

- 滝呑次長ほか (議案内容の説明)
坂井市教育振興基本計画の期間は平成27年度までとなっているが、坂井市総合計画と整合性を図るため、現計画を2年間延長するための改訂である。現教育振興基本計画作成から5年間に修了したものは削除し、新たに課題となったものは加えている。資料は最新のものとした。
(各課長、担当課内容について説明)

- 委員長 これについて何かご質問等はあるか。
- 喜多委員 2年間が終わった後の見通しは、始めないといけないのではないのか。
- 滝呑次長 県の教育大綱も策定された。市総合計画との整合性も図りながら、平成28年度後半から取り組む必要があると考える。
- 委員長 学校給食について、県は地産地消率を50パーセントと目標を掲げているが、そういったものは基本計画には掲載しないのか。

- 学校教育課長 目標数値は記載していないが、地産地消の取組みは進めていきたいと考える。
- 委員長 県は50パーセントという具体的な数値を掲げているので、坂井市でも反映されるのかと思う。
- 教育長 地域の食材や食文化を生かす食育という記載となっているが、地産地消という言葉に記載するとよいのではないか。目標数値についても記載するとよいのではないか。
- 教育部長 地産地消については、横断的に産業経済部と連携し取り組んでいるが、平成28年度からは、より進めるために協議会を作る計画がある。米については坂井市産であるが、野菜、果物についても坂井市産を使用するようにといった意見があるので、取組みを強化したいと考える。
- 委員長 坂井市には坂井丘陵地があり農業が盛んな土地であるので、50パーセントは難しくない数字であろうと思う。
- 教育長 平成30年に作成する新計画には記載する必要がある。三国給食センターは老朽化も進んでおり、アレルギー食に対応しなくてはならないという課題もあるため、建て替え等を視野に入れ検討しなくてはならない。
- 教育部長 現在、三国地区においてはアレルギー食の対応ができていない。平成28年度予算では、三国給食センター管内の子ども達のアレルギー食に対応するため、施設の一部改修を行いアレルギー食の提供をしたいと考えている。三国給食センターは建築後30数年経過しており老朽化が進んでいるため補修は当然であるが、将来的に坂井市全体の給食提供について考慮し、三国給食センターの建て替えも視野に入れ検討していくことも考えている。丸岡地区については、現在の自校式をできる限り継続していきたいと考える。将来的には、児童生徒、教職員あわせて8,700食の給食提供について考えていきたい。
- 滝呑次長 資料編の3ページに学校給食で県産品を使用している割合を掲載している。
- 委員長 この数値は、お米を除外したものか。
- 滝呑次長 そうである。

- 委員長 この数値に米を加えると、20パーセント程度上乗せとなるのか。
- 滝呑次長 県は50パーセントを目標としているが、坂井市は52、53パーセント程度であったと思う。県の目標は超えていると思う。
- 委員長 私が見た資料によれば、春江坂井給食センターは超えていなかったと思う。
- 教育審議監 地産地消の数値を上げることは定着してきているので、今度は学校給食の中に日本古来から伝わっている食文化、坂井市で独特に伝わっている食文化を取り入れていくというスタンスである。地産地消については、ある程度クリアしていると考えている。坂井市独自の食文化を取り入れるため、三国だけということだけでなく市全体に広げていきたい。去年は、全国的に「出汁の日」を実施した。そのようなことを坂井市でも多く実施したいと考えている。そういったことで、地産地消の数値目標は掲載しないということに理解いただきたい。
- 委員長 目標数値は具体的に示した方が良くと思う。地産地消は、ここ3年くらいのデータを見ても全て超えているわけではない。市内全ての給食センターで数値を越えたときに、クリアしたという認識を持つ方がよいと思う。
- 学校教育課長 坂井市の給食は自校式とセンター式があり、それぞれ調理する量に違いがあるので、数値にばらつきがあるのだろうと思う。今後、地産地消を強化していきたいと思う。
- 委員長 給食にこだわる理由は、福井県は石塚左玄さんの出身地であり、体力が日本一であるというのは食育に支えられている部分が多くあると思う。福井の人は、幼少の頃からずっといい物を食べているから気付かないのであろうと思う。目に見えない所で素晴らしい物が根付いているので、これから先も壊れず守られていくと良いと強く願っている。若い世代のお母さんを見ると、若くなればなるほど気になる部分があるので、きちんと受け継がれていくとよいと思う。大幅に変更があるのは平成30年度であり今は一部ということによいか。
- 滝呑次長 そうである。
- 委員長 他に、ご意見等がなければ、「議案第29号 坂井市教育振興基本計画の改訂について」は、原案のとおり承認するという事によろしいか。

(異議なし)

委員長

「議案第 29 号 坂井市教育振興基本計画の改訂について」は、原案のとおり承認する。

来月の定例教育委員会は、2月18日（木）午前9時30分からに決定。

【平成28年1月 坂井市定例教育委員会 審議結果】

平成28年1月21日（1日間）に開催された、定例教育委員会審議の結果を報告する。

議案番号	件名	議決年月日	審議結果
議案第 26 号	受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について	H28. 1. 21	原案承認
議案第 28 号	坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について	H28. 1. 21	原案承認
議案第 29 号	坂井市教育振興基本計画の改訂について	H28. 1. 21	原案承認

上記のとおり会議の顛末を記し、これを証するために署名する。

平成 28 年 2 月 18 日

教育委員長

三宅 小百合

職務代理者

若松 裕榮

委員

喜多 正之

委員

牧田 靖夫

教育長

川元 利夫

会議録調製職員

島田 順子

井尻 三千代